



The Comet

The Newsletter of K. International School Tokyo

Volume 23 | Issue 2 | December 2019

今号では...

- ▶02...新校舎建設
- ▶03、04...KISTival 2019
- ▶05...K3でのお祝い
- ▶08...K1: 私たちを助けてくれる人々
- ▶09...いじめ対策週間2019
- ▶11...スクールカレンダー2020-21
- ▶15...I&S部門寸評
- ▶17...模擬国連
- ▶19...G7キャンプの振り返り
- ▶21...G8が国会議事堂を訪問
- ▶21...教員養成計画
- ▶22...G11の熱海宿泊

「一つのゴールにたどり着いた時が新しい目標への始まりである。」
—John Dewey

学校長より

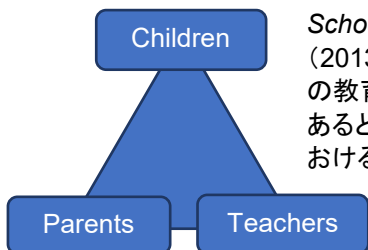
KISTでの保護者サポート

11月の始めに、エレメンタリーへの入学希望者を対象とした学校説明会(セカンダリーの学校説明会は10月に開催)を開催しました。説明会では、KISTで求められる生徒や保護者についてお話しさせていただきました。KISTでは以下のような生徒、ご家族を求めています。

- 学習意欲があり、勤勉な生徒
- 共感力と思いやりのある生徒とご家族
- 倫理観のある生徒とご家族
- ボランティア精神のある生徒とご家族
- 学習に関心の高いご家族
- 積極的に生徒をサポートして下さるご家族
- 学校の指導・指示に従い、積極的に学校に関与して下さるご家族

個別の相談会では、入学を希望されるご家族とお話しさせていただきました。皆さん、KISTでの学習の成功に向けてどのような保護者サポートが必要かについて関心をお持ちでした。この質問を受け、私はAmanda Ripleyの*The Smartest Kids in the World: And How they Got That Way*という本を思い浮かべました。Ripleyは自身の研究で、韓国の優秀な学習成果の一旦は保護者が積極的に子どもの学習に関与する結果であると述べています。Ripleyは、国によっては「チアリーディングアプローチ」を行う保護者がいる中、韓国では「コーチングアプローチ」を行っている述べています。

「チアリーディングアプローチ」は保護者が子どもの自信にマイナスの影響を与える事を恐れるあまり、特筆すべきことのない、小さな成功にも称賛を重ねます。「コーチングアプローチ」では、子どもが系統的に学べるようコーチング(指導)を行います。例えば、家事をしながら子どもと九九の表を言い合う、などです。このコーチングアプローチを実践している家庭では保護者が子どもの教育を行うのは自身の親としての仕事であると認識しています。



*School begins at home*という著作においてHarper (2013)は保護者は子供にとって「初めての、そして一生の教育者」であり、学習トライアングルの不可欠な要素であると説明しています。Harperは、子どもの教育と学習における成功は「最高品質の車を購入し、その後は安心して乗っている事とは違い、積極的に関与しなければならない」と述べています。

次のページに続く

重要な日程



2019年12月

- 6 (G1-G12) Clubs program ends
- 6 (K3-G5) LEAP classes end
- 6 (K1-G3) After care not available on this day
- 7 SAT@KIST
- 8 Lego robo-jousting tournament
- 9-11 (G9-G11) Semester 1 examinations
- 12 Winter celebration rehearsals
- 13 Winter celebration
- 13 (K1-G3) After care not available on this day
- 14-Jan 5 Winter vacation
- 16-17 Office open

2020年1月

- 6 School resumes for all students
- 6 2020-2021 enrollment applications close
- 6-13 (G12) Semester 1 DP mock examinations
- 13 School day (Morning only—half day for all students)
- 13 (G4-G10) Math diagnostic testing
- 17 End of semester 1
- 20 Semester 2 commences
- 20 (K3-G5) Semester 2 LEAP classes begin this week
- 21-24 2020-2021 enrollment interviews
- 24 (K1/K2/K3) School holiday (for students)
- 28 (G1-G12) Semester 2 clubs program resumes
- 29 World Cultures Day



PYP | MYP | DP

前ページの続き

KISTでは生徒の保護者にそれぞれの子供に対する積極的かつ前向きな関与を非常に貴重なものとして求めます。保護者のサポートの方法、そしてサポートそのものはお子さんの学習の成功に一生ものの影響を与えます。保護者の皆さんには、毎日の家庭生活に学習を取り込み、体系的な学習計画と子どもの学習に純粋な関心を持っていただくことでお子さんの教育に関与し、サポートしていただくことができます。

Kevin Yoshihara

Head of School/Elementary School Principal



参考資料:

- Harper, C. (2013, November 10). School begins at home. Retrieved from <https://www.thenational.ae/lifestyle/family/school-begins-at-home-1.648919>.
- Ripley, A. (2014). *The smartest kids in the world: and how they got that way*. New York, NY: Simon & Schuster Paperbacks.

新校舎建設

セカンダリーの新しい高層校舎の建設がいよいよ2020年夏に始まります！

以前もお知らせいたしました通り、新校舎建設により一般教室、特別教室、実験室の数がさらに増えます。また、図書メディアセンター(LMC)、フルバスケットコートが取れる体育館、400名以上収容の劇場、屋上カフェテリアとフットサルコートなど充実した設備が完成する予定です。メインオフィスと保健室にもこの新校舎に設置されます。劇場や音楽練習室へのアクセスを考え、エレメンタリーとセカンダリーの音楽室はどちらもこの新校舎に移動します。

建物自体の工事は2020年9月に着工し、完成は2022年3月を予定しています。この新校舎での授業は2022年4月からとなる予定です。校舎の完成後も校庭などの工事が続き、最終的にすべての工事が完了するのは2022年秋の予定です。

KISTから徒歩圏内にある私立の女子校、中村中学校・高等学校のご厚意により、工事中のG6からG8の授業をそちらの校舎で行います。他の学年も中村中学校・高等学校の体育館や体育施設をお借りできる予定です。

建設プロジェクトの基本的なスケジュールは以下のとおりです。



- 2019年10月 – 2020年3月:** 建築計画の最終確認と業者選定
- 2020年3/4月:** 学校カフェテリア裏スペースの整備
- 2020年6月:** メインビルの東側と体育館の解体、残る北側校舎の教室整備
- 2020年8月:** G6~8が中村中学校・高等学校に引っ越し
- 2020年9月:** 工事開始
- 2022年3月:** 工事完了、引っ越し
- 2022年4月:** 授業開始、メインビル北側の解体
- 2022年12月:** 校庭や外回りの整備完了

このほぼ2年間にわたる建設中、校庭のスペースが大幅に縮小されます。また、工事に伴い騒音や、運動・体育のために校外に移動するなどの不便が生じる可能性があります。学校の25周年記念である2022年の新校舎完成と、新校舎がもたらす様々な可能性に大きな期待を寄せています。工事期間中、コミュニティの皆様の温かいご理解とご協力をお願いいたします。



KISTival 2019

今年のKISTivalの準備日を思い出すと、今でも悪夢のような感覚が蘇ります。

その日は雨は強かったものの風は吹いていなかったのに、雨の中無理をして午前中に全てのテントを組み立てました。午後からのブース準備をどうしようと考えていたランチタイム、突然の突風がグラウンドに吹き荒れ、テントが次々に飛ばされていきました。この突然のアクシデントにスタッフは騒然となりながらも懸命にテント等の撤去しました。スタッフ皆の協力と迅速な対応で大惨事にならずに済んだこと、本当に良かったと思います(たまたまその場に居合わせ、一番最初に対応してくださったMr Suzukiと会社のスタッフの方には本当に感謝しています)。

大雨と強風の中、びしょぬれになりながら対策にかかわってくれたスタッフには感謝の気持ちで一杯です。風邪をひかせてしまったスタッフには本当に申し訳なく思っています。Bazaarブースからの衣類やタオルの提供を思いついたMs Leiaの機転と、協力してくださったBazaarのリーダーの皆さまにも心から感謝いたします。このアクシデントで明日の開催ができなくなるのではないかと考えましたが、Dr Yoshiharaのリーダーシップに応え、翌日早朝から多くのスタッフが復旧作業と再設置にきてくれました。スタッフの素晴らしい協力で奇跡的に開催時間までに準備が間に合い、無事KISTivalを開催することができました。この場を借りて改めて関係協力した皆さまに心から感謝の気持ちを伝えます。ありがとうございました！



総収入: ¥10,630,308
総経費: ¥2,585,390
収益: ¥8,044,918

- 総収入には、事前および当日のチケット・ラッフル売上、当日現金売上、寄付金、協賛広告費、スライダーライドパス、Contribution、外部者出店料が含まれています。
- 経費には、チケット・広告印刷代、各種レンタル機材代、ゴミ処分代、資材・材料費等の運営経費、外部者出店の売上精算分、Habitat for HumanityおよびPeace Window Japanブースの売上精算分が含まれます。

ブース	グループ	内容	収益
保護者	K3	ドリンク	¥549,245
	G1	ソーセージ	¥213,776
	G2	アメリカ料理	¥311,829
	G3	中華料理	¥369,132
	G4/G5	バザー	¥785,585
	G6	エアスライダー・ゲーム	¥413,007
	G7	日本料理	¥281,407
	G8	中華料理	¥280,225
	G9	アジア料理	¥250,115
	G10	メキシコ料理	¥339,426
	G11	インド料理	¥263,375
生徒	G6A	ボーリングゲーム	¥41,375
	G6B	シューティングゲーム	¥63,750
	G7A/G7B	トリックアトリート	¥68,375
	G8A	シューティングゲーム	¥35,875
	G8B	チョコバナナ	¥62,625
	G9A	ホーンテッドゲーム	¥48,125
	G9B	ホーンテッドカフェ	¥39,460
	G10A/G10B	ホーンテッドハウス	¥100,000
スタッフ	Staff	韓国料理	¥214,625
	Staff	駄菓子・おもちゃ・Janat等物品販売	¥262,588
	Komaki	クレープ	¥105,375
	Staff	フェイスペインティング	¥107,250
	Staff	ワニワニパニックゲーム	¥78,500

20年の歴史の中で初めての経験でしたが、改めてKIST Communityの素晴らしさを実感しました。今回のアクシデントを次回以降の反省点とし、更なる安全対策、計画をします。

翌日KISTivalは前日のお天気がまるで嘘だったかのように一転して好天に恵まれ、素晴らしい1日となりました。今年から入場料を廃止したため、正確な入場者数はわかりませんが、おそらく過去最高の入場者数になったと思われる盛況ぶりでした。今年度の目標の1000万円も到達することができました！！ 皆さまのご協力に心から感謝いたします。事前のご案内通り収益は全額新校舎建設への寄付とさせていただきます。

いよいよ2020年6月から新校舎建設工事が開始されます。今後2年間(2回)は今までの形式でのKISTivalはお休みとなりますが、保護者ならびに生徒の皆さん、今回のKISTivalの振り返り、今後のKISTivalへの新しい提案などございましたら、sayoko.naito@kist.ed.jpまでお知らせください。

今回の成功への皆さまの協力に感謝いたします。ありがとうございました。





エレメンタリースクールニュース

スクリーンタイムとネット依存

冬休みが近くなる中、スマホ、ゲーム機などの電子機器をギフトとして貰う子供たちや若者は世界中に多くいるでしょう。これらの電子機器は役に立つことも多いですが、これら機器やインターネットを使っている時間を確認することはとても大切です。電子機器の利用時間とネット依存は保護者の間でも問題視されています。ここ数年、CNNは [Are you addicted to the Internet](#)、[Addicted to the internet: Behavioral therapy could work](#)、[Boot camp for the Internet-addicted](#) など、ネット依存に関するの記事を掲載しています。最近のCNNの記事では、スマホの依存を理由に、スマホ依存の治療センターが様々な地域で立ち上げられてると書いてあります。

私はここ最近、電子機器の利用時間について興味を持ち始めました。そのきっかけとなったのは、私が旅行でビーチに行った時の事です。キレイな青空と広い海に囲まれる中、ビーチチェアに横になりながら全員違う電子機器を使っている四大家族を目撃しました。その後、レストランに入ると、まだ一歳にもならない息子のためにタブレットを準備している家族を見かけました。乳母車に乗せられて子どもがタブレットを使いながらビデオを見たり、ゲームをしながら登校している姿に驚かされました。本来、子どもたちは電子機器を使用しなければならないように生まれてはいませんが、使うように習慣づけられているせいになっているのです。これは自然な行為ではなく、育て方の問題です。子どもたちが必要以上にスマホやタブレットを使うようなら、保護者がしっかりと責任を取って見守ることが必要だと思います。

Gregory(2019)によると、精神障害の診断と統計マニュアルでは、ネット依存は障害として認められていませんが、多くの国で多くの人々に影響を及ぼしているそうです。[Cell phone detox centers](#)というCNNの最近の記事によると、韓国の10代の人口のおよそ30%は過度にスマホを利用しています。

ネット中毒になっているかどうかを確かめるためには様々

な症状をチェックすることで分かります。Gregory(2019)によると、まず、本人にネット依存の自覚があるかどうかを確かめるのが必要だそうです。そして保護者は、子どもの電子機器の使用時間をしっかりと監督することが重要です。[Is Your Child Addicted to the Internet](#)という記事で、Cuffey(2010)は、ネット中毒の予防として効果的なのは以下の手段であると述べています。

1. 電子機器の使用時間を制限する
2. 保護者が正しい使用の見本を示す
3. ゲームにはまっている子どものネット使用時間を監督する

もう少しで冬休みに入りますが、保護者の方はお子さんの電子機器の使用時間を是非監督してください。家庭内でネット依存を予防するのは簡単なことです。ベンジャミン・フランクリンが残した名言として「予防は治療に勝る」という言葉もあります。

皆さん素晴らしい冬休みをお過ごしください。そしてまた、2020年にお会いすることを楽しみにしております！

敬具

Kevin Yoshihara

Head of School/Elementary School Principal

This article was translated by Preston (G11B).
この記事は G11B Preston が翻訳しました。

参考資料:

- Cuffey, A. L. (2010, January 4). Is your child addicted to the internet? Retrieved from <https://www.womansday.com/relationships/family-friends/a4508/is-your-child-addicted-to-the-internet-101986/>.
- Gregory, C. (2019, May 22). Internet addiction disorder - Signs, symptoms, and treatments. Retrieved from <https://www.psycom.net/iadcriteria.html>.

ニューフェイス



前回のThe Comet発行後にKISTエレメンタリーチームに2名の新しいスタッフが加わりましたーK1Bの教育アシスタント、**Yuri Matsuo** とK1からG1の音楽インストラクターの **Niña Reyes** です。



学校コミュニティを代表し、二人を心から歓迎し、私たちとの時間を楽しんでくれることを願っています。



Yuri Matsuo
Teaching Assistant (K1B)



Niña Reyes
Music Instructor (K1-G1)

PYPニュース

生徒の主体性

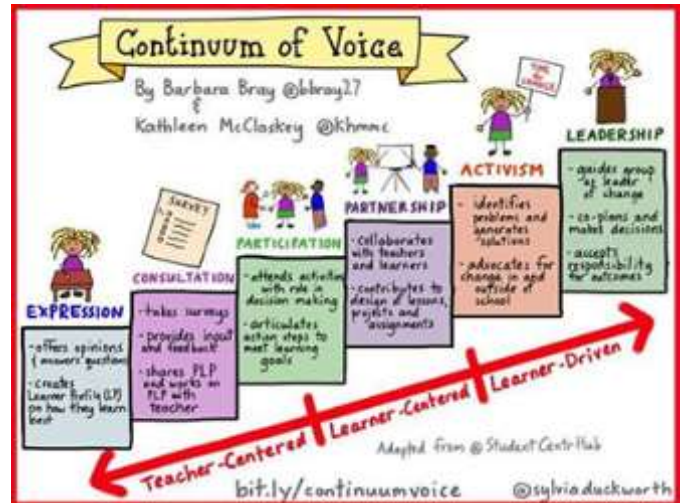
新しく導入された“enhanced PYP”で重要かつ頻出する用語に“agency”（主体性）があります。IB（国際バカロレア）において新しい概念ではありませんが、最近、生徒により選択肢や自主性を与えることによってさらに、リーダーシップスキルが重視されるようになりました。

IBの教室における大人は教師ではなく、学習の進行役であるとよく言われます。そのため、生徒が授業だけでなく、事業の計画においても積極的に関与する機会を設けることが必須となります。生徒が学習に主体的に関わる機会を提供することは、生徒がより積極的に学び、より深く概念を理解することにつながります。

「主体性とは意味深い、意図した行動をとるための力であり、個々の意見や選択、責任について認識することである…」 IBO November 2017

エレメンタリーでは、このような機会を生徒に提供できるよう、教師たちが力を尽くしています。以下はKISTで生徒が主体的に関わっていることを示す活動例です：

- **Burning questions** – 生徒はどうしても知りたいことなどをオンラインフォーラムにあげ、他の生徒がそれに回答し、証拠となるウェブサイトのリンクなどを掲示します。
- **Student-generated central agreements** – 生徒はどの学習ガイドラインが必要かを判断します
- **Personal goals** – 毎週敵的に個人のゴール設定をします
- **Flexible seating** – 生徒は様々な異なる活動において誰の隣に座るかを自由に決められます
- **Visual dictionaries** – 生徒は自分自身の単語リスト・単語帳を作成します



- **Open-ended discussions** – 生徒は答えを与えられるのではなく、自由にテーマについて探求します。これにより、生徒は学習に自ら積極的に関わり、達成感を持つことができます。
- **Inquiry table and hands-on resources** – 生徒は自身の理解を様々な方法で示し、試み、探求することができます
- **Field trips** – 生徒は校外学習で行きたい場所について意見を述べるすることができます
- **Flexibility and flipping the learning** – 宿題とクラス課題の境界を明確に定めない

上記はKISTで行っていることの一部です。熱心なスタッフの努力と貢献により、これからも生徒の自主性のさらなる発達を目指します。

主体性についてもっとお知りになりたい方は、PYP Teaching Toolsブログをご覧ください。

<http://www.pypteachingtools.com/implementing-student-agency-in-the-ib-pyp/>

Oliver Sullivan
PYP Coordinator



K3でのお祝い

現在K3の生徒たちは、人々が祝う理由やお祝いについての単元を学んでいます。

最近、生徒たちが参加したお祝いについて「Show and Tell」をしてもらいました。すでに、生徒たちが他者の信念や家族の伝統に寛容さと敬意を示していることに気付きました。彼らが他の文化に対する敬意をさらに高めることでしよう。

Christie Chung
K3B Teacher



幼児教育ニュース



みなさん、こんにちは。今年度ももう4か月目となりましたね。お子さん達はすっかり学校での生活やクラスの環境に慣れて、学校での学びを楽しんでいるのでしょうか？11月末に行われた、三者面談が皆様にとって有意義なものがあったと思います。

前回の *The Comet* が発行されてから、幼稚園全体で取り組んだ取り組みは数えるほどしかありませんでした。初めに、こちらは子ども達の事ではないのですが、KISTivalにて、Face painting に来てくださった家族、そしてお手伝いをしてくださった家族の方々に感謝の意を込めて紹介します。幼稚園のスタッフはKISTivalのFace paintingをMPRでやり始めて、今年で4年目を迎えます。今年度はRukaちゃんお母さん、Sena君のお母さん、Ran Ranちゃんのお父さん、そしてSiyoon君のお母さんがお手伝いしてくれました。本当にありがとうございました。今年度はプラスチック板を使ったキーホルダー制作を取り入れてみましたが、とても人気でした。たくさんのご家族の方にお越しいただき、大変盛況でした、ありがとうございます。

次は幼稚園の全体集会です。11月末に今年度初めての集会が行われたばかりです。K3クラスのお友達が、K1、K2クラスのお友達に向けて、'Friendship'に関して、色々な発表してくれました。

K3Bクラスのお友達は、まず、この集会に向けて、K1とK2のお友達にハート型の紙を、色を塗ったり、絵を描いて集会に持って来てね、と配ってくれました。そして、この集会の時に、K3Bクラスのお友達は意地悪な言葉が人の気持ちを傷つけることを発表してくれました。K1、K2クラスのお友達はK3Bクラ



After Care

スのお友達が意地悪な言葉を言ったときに、ハートの紙を折り曲げたり、引っかいたりしました。最後に、小さくなったハートの紙をもとに戻そうとしたのですが、元には戻りませんでした。人にお話をする時に、私たちは、お友達の気持ちを傷つけないよう、きちんと言葉を選ばないと、相手の気持ちを傷つけてしまう事を再確認しました。

K3Aクラスのお友達は2冊の本、"The Bad Seed"と"The Good Egg"をもとに、短い劇をしてくれました。初めに、子ども達は'the bad seed'がするようなことをやって見せてくれました。そして、K1、K2クラスのお友達に、自分達ならどうするか聞いてくれました。そして、今度は"good eggs"にどうしたらなるかの短い劇をやって見せてくれました。

次の幼稚園全体集会はK2クラスのお友達が発表をしてくれそうです。そしてその次がK1クラスの発表です。大きなお友達の発表を見て、K1、K2クラスのお友達もみんなの前で自信をもって発表できればと思います。

そして、最後に紹介するのはWinter Celebrationです。Winter Celebrationは各学年の子ども達の成長を垣間見るとても良い機会です。来年の今頃にはこんなこともできるようになるのかとそんなことを思いつつ、各学年の出し物を楽しんでください。

K1クラスの担任として、一緒に学校で生活している、たくさんの生徒たちが、幼稚園の子ども達と色々な活動、(Reading Buddies, After Care, exchange Music classes with secondary students)をとおして関わってくれていると感じます。高校3年生まで一緒にのキャンパスで過ごしているからこそこのことと思います。このような関りから、子ども達はたくさんの事を自然に学んでいるのですね。

皆様どうぞ素敵なお休みをお過ごしください。

Eri Ozawa
Early Childhood
Coordinator
(K1-K3)/K1B
Teacher



K1A



K1B



K2A



K2B



K3A



K3B

K1: 私たちを助けてくれる人々

'Who we are' のユニットで、K1クラスは警察署や近所のこども図書館など、様々な場所に遠足に行きました。また校内を回り、私たちが学ぶのを助けてくれている人々を探しました。

学校内では、学校長およびエレメンタリー校長のDr Yoshihara、エレメンタリー副校長のMr Bradley、PYPコーディネーターのMr Sullivan、学校ナースやその他多くの先生たちにインタビューをしました。インタビュー後、K1の生徒たちは周囲の助けてくれている人々のことをより意識するようになり、「Dr Yoshihara、おはようございます」といったようにしっかり挨拶できるようになりました。

また、学校の外でも私たちが様々な面で助けてくれている人々を探しました。タクシー運転手、トラック運転手、工事建設従事者、レストランのシェフ、薬剤師、警察自動車に乗らせていただいた警察官、歩いているKISTの先生たちなどを見て、生徒たちは胸を躍らせていました。

地元の消防士が学校を訪れ、火災安全訓練を実演しました。また他にも、生徒とその保護者が楽しめる、4つのアクティビティを用意してくださいました。

1. 地震シミュレーショントラック

生徒と保護者は、震度6の激しい衝撃と揺れを体験しました。

2. 消火ホースの使用

生徒と保護者は、実際に消化ホースを使い、水が炎や火に届くためにどのようにホースを巻いたり緩めたりするのかを学びました。

3. 消火器の使用

生徒と保護者は消火器を使って火を消すことができました。消火器の使用方法は：ピンを抜き、ノズルで火の出火元を狙う、消火器のハンドルを押す、そして火を狙ったままノズルを左右に動かす。

4. 消防士の制服を試着する

生徒たちは、消防士の制服を試着することができました。消防士は3つのタイプの制服を着用しています。

- 特殊消防士や幹部は黄色のストライプの入った黒色ジャケット着用。
- 救助者は、オレンジのジャケット着用。
- 一般の消防士は茶色のジャケットを着用。

Claire Yoneyama
K1A Teacher



いじめ対策週間2019



毎年私はKISTでいじめ対策週間を企画し、G3の生徒たちといじめ対策アセンブリーを主導しています。今年は、「Family Fortunes」という英国のテレビゲーム番組をもとに台本を作りました。私たちのいじめ対策ゲームは、アセンブリーの前にG4およびG5の100名の生徒から調査した質問に対して回答した二家族に関連しています。

調査は、下記3つの質問で構成されています。

1. どういった時に、人はいじめられていると感じると思いますか？
2. いじめを見たら、あなたは何かできますか？
3. いじめが起こるのをどのようにして止めることができますか？

最初の質問は、生徒がいじめの定義を確認するのを助けるためのものです。いじめとは、故意に繰り返し、誰かが他者の言葉か行動によって傷つけられることです。どのような形、またはどのような理由によるいじめであっても、周りの人を含めていじめに関係する人に短期的、中期的そして長期的に影響を与えます。そのため、生徒たちが他者が傷つくかもしれない言葉や行動に気づくことは、とても重要なことです。

二番目の質問は、もし生徒がいじめを見たり、いじめをされたりした場合に、何ができるかを確認するためのものです。

そして三番目の質問が最も大切なものになります。生徒たちが自身の怒りの管理方法、自尊心の育て方、良好な人間関係の築き方など適切な社会的スキルを身に付けることができれば、それがいじめのない学校につながります。

何かご質問や、エレメンタリースクールにおけるいじめ防止について懸念のある方は、私までご連絡ください。

Kana Furnival
Elementary School Student Care
Coordinator



エレメンタリーSRC

KISTでは生徒たちが自分の意見を述べることで、学校と学校外のより広いコミュニティに貢献することを大切に思っています。生徒は、関心を持つ問題に対して、自分の意見を表明する機会を与えられます。生徒の声を尊重し、生徒が積極的に学校の目的・目標に向かうことを奨励されます。

学年度を3つのブロックに分け、4年生と5年生のクラスから各ブロックに2人のStudent Representative Council (SRC)のメンバーを選出しています。ESRCのメンバーは担当の先生のサポートと一緒に定期的にクラスのミーティングを開いて、お互いにアイデアなど情報を交換します。

最初のミーティングに、生徒たちは一つのプロジェクトを考え出し目標を決めます。先生たちはメンターとして毎週木曜日にESRC全メンバーと会い、プロジェクトの計画を立てることを手伝います。各ESRC期間の終わりにESRCメンバーは、Mrs Komaki、Mrs Naito と Mr Yoshihara にアイデアを提示する機会が与えられます。

2019年に最初に行われたESRCの写真を添付しました。



**Kana Furnival and
Oliver Sullivan**
Elementary SRC
Mentors



This article was translated by Helena (G9A) and Kaoru (G11A).
この記事は G9A Helena と G11A Kaoru が翻訳しました。



LEAPニュース

LEAP生徒および保護者の皆様、こんにちは！
今学期の皆さんの頑張りとサポートに感謝いたします！

LEAPの生徒たちは、写真からもわかるように、創造的で魅力的な様々な課題に取り組みました。

そして信じられないことに、2020年はすぐそこに迫っており、第二回目のLEAP申し込みの時期もやってきます。セメスター2のLEAP推薦に関するメールは、12月12日に保護者宛に送付されます。このメールを受け取った後は、来期のLEAP申し込みについて考えるのに加えて、冬休みの時間を使って、是非お子さんに必要な分野のサポートをしてあげてください。

セメスター2のLEAP申し込みは、冬休み後に始まります。申し込み開始に関しては、E-Communicationを通してすべてのご家族にお知らせいたします。来年のLEAPクラスは2020年1月20日から始まります。

LEAPに関する詳細の情報および授業に関する情報は、[LEAP homepage](#)にアクセスしてご確認ください。

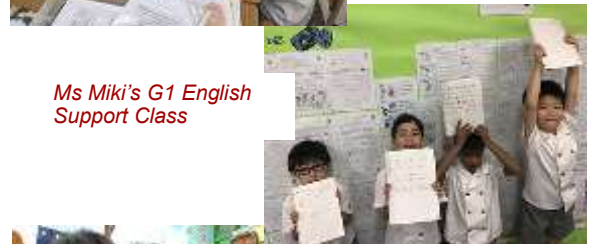
もし質問等ございましたら、直接こちらにご連絡ください。
leap@kist.ed.jp



Miki Kanai
LEAP Coordinator



Ms Parvathy's G3 English Support Class



Ms Miki's G1 English Support Class



Ms Amanda's G1 English Extension Class



Ms Ching-Hui's G2 Math Support Class

エレメンタリーELS

プレゼンテーション前におこる緊張の回避: 生徒をサポートする方法



プレゼンテーション近づくことで非常に緊張する大人も多いですが、KISTの生徒は毎年いくつかのプレゼンテーションに取り組みます。私たちが話すときに仲間たちが私たちを見つめていることに加えて、他のさまざまな心配も現れます。2つの大きな心配は:「**プレゼンテーションのトピックを十分に理解しているでしょうか?**」そして、「**聴衆が私を理解するのに私が使う言葉などは十分に明確でしょうか?**」

担任の先生とELSインストラクターは、プレゼンテーションの前にユニット全体でこれらの最初の心配事をさまざまな方法で支援します。さらに、プレゼンテーションを準備すること自体が、コンテンツを理解するための方法です。たとえば、プレゼンテーションを準備するために学生をグループ化することで、学生がトピックをよりよく理解する助けとなる

ことを意味します。また、教員がグループからグループへと簡単に移動し、さらに支援が必要な学生を見つけることができます。



Akihiro (G5A) は、画像と実際のオブジェクトを使用して、電気エネルギーの仕組みを説明しました。

言語を明確に使用できるかどうかに関する2番目の心配事も、いくつかの方法で教員が対処します。多くの場合、スクリプトの準備に関するガイダンスが役立ちますが、この後の手順もあります。生徒に台本見ずに、自由に話すことを練習するように勧めることは、言語スキルを強化する方法です。聴衆に見せることになるキーワード、写真、また

はデモンストレーションは、生徒が台本なしで話すことを実際にサポートすることができます。

また保護者は自宅で非常に特別なサポートを提供することもできます。子供がトピックを完全に理解していないと心配している場合

は、母国語でトピックを一緒に話し合うのが最善の方法の1つです。同様に、最初に母国語でトピックを説明し、次に英語でリハーサルするように子供を手引きすることで、彼らが英語をより明確に使えるようサポートできます。言語スキルは言語間で共通ですので、子供に母国語で提示や指



G5Bの教室では、「ジグソー」というプレゼンテーションが実際に行われています。ジグソーでは小グループの各参加者が異なるが関連するトピックについて発表します。このプレゼンテーションは、学生の知識を構築する一環として、エネルギーに関するG5ユニットの途中で行われます。

導することにより、英語でのプレゼンテーションの改善にも役立ちます。



自宅でのこの様なサポートは学校での教師のサポートと一緒に、このような違いをもたらします!

Kokona (G5A) は、電気エネルギーとは何かの説明の一環として、聴衆に実験への参加を求めました。AkihiroとKokonaは、電気エネルギーについて研究し、それを明確に説明できるように互いに支援した小さなグループに属しました。



Rachel Parkinson
Elementary ELA Coordinator/G5 ELA Instructor

スクールカレンダー2020-21



ご家族の旅行、特に海外への旅行計画などの利便性を考え、2020-21年度の長期休暇や重要な行事日程を以下に記載します。

ご家族には、生徒が休み明けに必ず登校できるよう日程をご確認の上、旅行等の計画を立てて頂けますようお願いいたします。カレンダーの完全版は6月に配布されます

- **新学年度生徒始業日:**

2020年8月24日

- **学校全体イベント*:**

2020年10月24日

- **秋期休暇:**

2020年10月25日～11月1日

- **冬期休暇:**

2020年12月19日～2021年1月10日

(生徒の新年度の始業日は2021年1月11日です)

- **春期休暇:**

2021年3月21日～28日

- **ゴールデンウィーク休暇:**

2021年5月1日～9日

- **生徒の最終登校日:**

2021年6月16日

*新校舎工事のため、KISTivallは2021年に開催されません。その代わりに、学校全体のための他のイベントが開催される予定です。詳細については、後ほどお知らせいたします。

KIPSニュース

From the P1 classroom...

今年も新年度が始まり3か月が過ぎました。P1にも新入園児たちが入り、毎日にぎやかに過ごしています。新しい生活に慣れずに泣いていた子どもたちも今や友だちの名前を呼ぶほど関係が深くなってきました。

P1での一年間は、友だちと遊ぶ中で人間関係、また、食事や午睡などの生活面においての成長を基盤に、毎日一つずつ子どもたちができることを増やしていきます。KIPSに登園し始めた頃は、Circle timeが始まるとまだ遊びたくて泣いていた子、Specialist classの時間に耐え切れずに立ち歩いていた子、なかなかご飯が食べられなかった子、午睡が嫌いだった子など様々な姿がありましたが、今では片付けが終わるとそれぞれの席に着きCircle timeが始まることを待つようになり、Specialist classでの活動も楽しめるようになってきました。そして身体を動かせる力もついてきたためご飯を食べる量も増えてきています。また、寝る時間になると静かに布団に横になるなど毎日の生活の流れでのルールも分かりながら過ごせるようになってきました。

まだまだ始まったばかりの集団生活ですが、たった3か月でここまで変化する子どもたちに期待を寄せながら、更に自分の力で生活を楽しめるような子どもたちに育つよう、私たちも一つずつ丁寧に成長を見守っていこうと思っています。

Mai Inagaki
P1 Teacher



From the P2 classroom...

今年のスクールイヤーはまるで風のように早く過ぎていきます。皆さんがスクールに来てから、P2の子供たちは一生の友人を作っています。涙と笑い、浮き沈みを通して、心地よさを求めて友達の手を取り、新しいことを共に経験しています。特にとっても不気味で怖いイベント、ハロウィーン！

生徒一人ずつが自分のコスチュームについて、クラスメイトの前で順番に発表しました。子供たちは喜んで自分のお気に入りのお姫様やガイコツのようなキャラクターになりました。また子供たちはコスチュームを着ている間に、数週間前から準備していたハロウィーンの歌に合わせて元気に踊っていました。P2のお友達は、KIPSの周辺や近くのお店へ「trick-or-treating」に行きました。それぞれの場所では、子供たちが自分の最も大きな声(たまに恥ずかしがり屋な声)で、「Trick-Or-Treat」と叫び、素敵なお菓子をもらう時には喜びに溢れていました！

だんだん寒さが増す中、冬休みはもうすぐそこまできています。P2の子供たちは毎日冬のパーティーの準備を着々とおり、KIPSではホリデーモードに包まれています。子供たちはサンタクロースが訪れて雪が降るという話を神秘的な顔つきで聞いています。楽しい休暇をお過ごしください！

Brooke Esper
P2 Teacher



MYPニュース

新たにMYPにふれる保護者の皆さんが KISTでのワークショップに参加

新年度のスタートには緊張が伴います。新しい学校での生活を始める新入生ならなおさらです。しかし、この緊張と不安は生徒だけのものではありません。ミドルスクールへの進学(またはKISTに新たに編入される生徒)はご家族にとっても大きなチャレンジです。

毎年、新しいご家族をMYPのワークショップにご招待しています。ワークショップではIB MYPでの学習や指導方針についての基本的な考え方についてお伝えしています。参加型のアクティビティのいくつかを通して保護者の皆さんには実際お子さんが体験する内容について議論していただきます。

今年の9月18日に行われた説明会ではMYPコーディネーターのMr WhiteがMYPでの評価についてお話をいただきました。この中で、特に各教科の教員が評価基準を用いて継続的で公正な評価を行っていることをお伝えしました。MYP生の保護者の皆さんに特にお願いしたサポートは、お子さんがしっかりと何を評価されるのかを理解し、その課題に必要なスキルを向上できるようにお声がけをしていただくことです。

評価についてのご説明の後、MYP ServiceコーディネーターのMs DuranがMYPでのService/奉仕活動についてお話をいただきました。Ms Duranからは過去に生徒が行った、特筆すべき活動内容と今年、生徒が行うべき活動の要件についてご説明しました。また、保護者の皆さんにはコミュニティ内でどのような活動を行うことができるのか考えていただきました。

最後に、G6～8の生徒ケアコーディネーター、Ms Holdawayがセカンダリー生が自由に友人関係や精神的な問題などについて同年代の生徒と共有することができる「オープンセッション」についてご説明しました。保護者の皆さんにもオープンセッションのシミュレーションに参加していただきました。

ワークショップの終わりには、保護者の皆さんにMYPに関する様々な事柄について知っていただき、MYPでお子さんを効果的にサポートする方法についてお考えいただくことができたのではないかと考えています。

Robert White
MYP Coordinator



Ms Duranがセカンダリーのオープンセッションシミュレーションを行っているところ



保護者の皆さんがセカンダリー生にふさわしいサービス活動について検討中



保護者の皆さんがMYPで適用される基準についてのディスカッション中

KIST生が日本国内のイベントで健闘

日本語

ビブリオバトル

決勝進出ならず

高等学校ビブリオバトル2019東日本大会(主催:活字文化推進会議 主管:読売新聞社 後援:文部科学省)が、9月8日(日)成蹊大学にて、1都8県より、各学校代表73名が参加して行われました。



バトルの様子です。

本校からは、**Manaka**(G10A)さんが、東京代表の一員として参加しました。予選で素晴らしいバトルを繰り広げましたが、惜しくも決勝(6名)への進出を果たせませんでした。

プレゼンフェスタ

頑張ってきました

第18回「高校生プレゼンフェスタ」(主催:獲得型教育研究会)が、3月26日(火)江東区深川江戸資料官にて、都内の高校より各学校代表35名が参加して行われました。本校からは、(当時G11)**Akino**(G12B)、**Michiru**(G12B)、**Marin**(G12A)の3人が参加し、テーマごとに他校の生徒とチームを組んで調査・発表に加わりました。



やっと送られてきた賞状です。

悲劇から学ぶ

アメリカ人研究者がG12 Englishの生徒と「悲劇的な」知識を共有する

ソポクレス作、ギリシャ悲劇*Antigone*(アンティゴネー)は表題にもなっているオディプスの呪われた娘、アンティゴネーと、新たに王となった叔父のクレオンとの矛盾した諍いを描いた作品です。DPのEnglish Language and Literature Paper 2 試験では、アンティゴネーを含むクラスで学習した2作品のテーマを比較する小論文を限られた時間内で書くことを求められます。10月21日、KIST生は幸運にもロスアンゼルスのリベラルアーツカレッジ、Occidental CollegeのComparative Studies in Literature and Cultureの学部長であるDamian Stocking博士のオンライン講義を受けることができました。Stocking博士はUCLAの古典ギリシャ文学の修士及び博士号を持ち、アンティゴネーにおける歌の役割について論じた*The Ruin of Song*の著者でもあります。過去にはEnglishで高得点を獲得した生徒数名が実際のPaper 2試験でStockingの著作から得た着想を用いています。

この講義でStockingが生徒に説明してくれたのは、人が個々の運命をコントロールしたいと望む内在論についてでした。これについて生徒がはっきりと理解できるよう、Stockingは人に頼ることの必要性や必然性と比較して説明をしてくれました。例えば、テニスの試合は相手とのボールの打ち合い(ラリー)によって成立します。相手にボールを打ち返さなければ、ゲームの終了を意味し、個々の選手の

成功の可能性も打ち消す行為となります。ソポクレスの戯曲ではアンティゴネーとクレオンの双方が相手との妥協・和解を拒絶し、その結果自滅します。

Stockingの講義の後、**Noa**(G12A)など数名がPaper 2の模擬演習でその説を用いました。他数名同様、Noaは戯曲の初演数十年前に採択されたギリシャの民主主義の正当性に内在論が与えた脅威についての論説を展開しました。Noaは、アンティゴネーは「民主主義社会の繁栄において内在論への反発の重要性」を描いていると述べています。多くの生徒がこの講義の後Stockingの論文をよく理解できるようになったことに驚き、同時に大学の講義に臨む自信がついたと感想を述べています。KISTのDP生にこのような機会を提供してくださったStocking教授に感謝し、今後のご研究が実り多いものとなりますようお祈りしています。

Steven Otis
Subject Area Coordinator—English



ロスアンゼルスOccidental Collegeのギリシャ文学研究者Damian Stocking氏

I&S部門寸評

Individuals & Societies によろこそ。ここでは各学年でどのような学習をしているのかを簡単にお伝えします！

Keith Erickson
Subject Area Coordinator—I&S



Grade 7

G7は教育実習生、Ms Kanoka Furukojiを喜んでクラスに迎え入れました。Ms Kanokaは中世の生活について探求する歴史単元を指導します。生徒たちはShota「王」に率いられ、封建制度のシミュレーションを行いました！これからも、例えば、江戸東京博物館への校外学習などを通して、その時代を生きた人々の視点から過去の社会の発達やアイデンティティについての探求を深めていきます。



IGCSE Business Management

生徒たちは異なるビジネスの仕組みについて学んできました。例えば、有限会社の利点と欠点についてなどです。ある課題では生徒が実際に企業が直面する問題をコンサルタントの責任という視点から考えることが求められました。この課題では有限会社設立を検討している個人商店主に法人組織設立に必要な要件や方法を説明することでした。こちらに実際の生徒の課題(画像)をいくつか掲載しました。



Grade 10

生徒たちは古代のシルクロード貿易について学び、貿易がどのように世界的に良好な関係を築く役に立つかについて考えました。生徒はシルクロード上に点在する主な貿易拠点について調べ、貿易がその地域にもたらした産物や影響について学びました。その後、現代のシルクロードとして知られる中国の「一帯一路」の取り組みについても議論を進めました。



Grade 6

G6のI&Sでは歴史の単元に入りました。古代エジプト、ソマリア、ローマ、ギリシャなどの文明について探求を進めます。生徒たちはいつも熱心に学習に取り組み、次ほどの文明について学ぶのか好奇心をいっぱいしています！過去について学ぶ際の参考文献や出典の大切さ、そして常に細心の注意を払い、情報をうのみにしないことについても学びます。クラスでは、あるテーマに対して資料が少なすぎること、また多すぎる事の危険性についても論理的、批判的なディスカッションを通して学びます。今週から生徒たちは単元のformative assessment(形成的評価)に取り組んでいます。生徒はこの課題で古代ギリシャの有名な人物についての解説画像を作成しなければなりません。G6がどのようなものを完成させるのか、いまから楽しみです！



Grade 8

G8ではそれぞれの異なる社会での政治がどのような仕組みの下で機能し、権力の分散を行い、公平さを維持し、発展しているのかについて学んでいます。生徒たちは君主制、民主制、独裁・単一政権制度について学びました。この単元では、民主制における主な歴史的事実について学ぶとともに、国会議事堂を訪問しました。



DP Business Management

DP生は経営学の6つの概念-戦略、倫理、革新、変革、グローバリゼーションと文化、の理解に多くの時間を費やしてきました。直近の評価課題は戦略;それもスポーツチームのマネジャーあるいはディレクターの立場から見た戦略についてでした。次期のチームに対する提案を5つ行い、それをクラスの前で発表します。これを効果的に行うために、自身の決断を補完するデータや証拠を集めることが求められます。このようなことを行うためにはリサーチや論理的思考力が必要となります。以下は生徒のプレゼンテーション資料の画像です。



前ページの続き

DP Economics

最初の四半期に、生徒たちは貿易の保護政策の是非と、為替レートについて議論を行いました。保護政策に賛成の意見としては、国内の雇用や幼稚産業の保護、そして不公平な競争の防止などがあげられました。また反対意見には、貿易戦争の可能性、国内消費者への商品の高価格、競争不足による生産額の増加などがありました。

「外国為替の仕組みについて知り、今の世の中で起きていることを理解できるの楽しいです。」
Ushani (G12A)

「経済と経営学との複雑にからみあった関係がみえてきました」 Aryan (G12B)

DP Geography

Geography HLの生徒たちが食糧の自給率（食の確保）と食に関する問題の解決策を学

ぶ、食と健康の単元の一環として、Pasonaが大手町で経営する牧場を訪問しました。この都市型農場では、飼育されている動物たちと触れ合ったり、食用植物（野菜）が壁面や天井で育てられているところを見学しました。そのほかにも、室内の田んぼやオフィス内の菜園なども見学しました。人口が密集している大都市での土地不足の解決策として、このような都市型農場の可能性について有意義な議論を交わすことができました。



セカンダリー-ELS

ピリピリと刺すような寒さは冬の訪れ（と冬休み）が近づいてくることだけでなく、セメスター1の終わりが近づいてきていることも告げています。今のところ、アカデミックライティングを履修している生徒は粘り強い頑張りや、柔軟な発想や、やる気で私たちを感心させています。これらはすべてKISTでの学習において生徒を支えてくれる重要なスキルです。

全ての生徒にとってsummative（包括的評価）課題がやってきており、一部の生徒にとってはストレスの多い時期でもあるでしょう。言語インストラクターとして、教科毎の異なるテキストタイプに対応することが負担になる事もあると理解しています。そしてまた、かつて生徒であった私たちは、追加の指導やサポートでこの負担を軽減できることも知っています。

英語サポート部門ではKIST生全員が自身の言語的目標を達成できるよう、常に新しい方法を模索しています。その一つとして、G9からG10の生徒を対象に週ごとのdrop-in session（自由に質問に来られる時間）を設けました。

このセッションでは生徒が、教科を問わず、summative課題に取り組みにあたって、その学年に配属されているELSインストラクターから言語に関わるアドバイスやサポートを得られます。また、インストラクターは文法や言語学習に関する総合的な質問にも答えます。

このセッションはG10は毎週火曜日、G9は木曜日の放課後に提供されており、事前の申し込みや予約は必要ありません。学年に配属されているインストラクターに相談するには上記曜日にEnglish Officeに来るだけでいいのです。この曜日に別の予定が入っている生徒は個別にMs Chernenkoと私に相談してもらえれば、空きがある限り対応します。

休み中のアドバイス...楽しんで!

3週間の祝祭と楽しみ、そして雪（地域にとって楽しいものにも脅威にもなりますが）に満ちた冬休み中は言語学習が失速しがちです。でも必ずしもそうとは限りません！リラックスした時は言語スキルを磨くのに最適なタイミングです。学習言語で本を読んだり、映画を見たり、雑誌を見たりすることができます。自分が関心のあることと言語学習を融合させると、役に立つ語句や専門用語を楽に覚えられます！でも最も大切なことは、これまで頑張った自分へのご褒美として休みを思いっきり楽しむことです。良いお休みを！



Jade Bonus
Secondary ELS Coordinator

模擬国連

2019年11月16日に、KISTで模擬国連会議が行われました。秋にしては暖かいこの日に、KISTのMUN代表者たちはBritish School in Tokyo、St. Mary's International School、Yokohama International School、Tamagawa High School、Horizon Japan International SchoolとKAIS International Schoolとの交流の機会を得ました。

今年の模擬国連はUNICEF東京事務所副代表根本巴巳氏とのディスカッションから始まりました。このディスカッションでは議長を務めた**Akino** (G12B)、**Marlinah** (G12A)と**Ji Hye** (G12A)が司会進行を行いました。このディスカッションにより、代表者たちは国連の役割や、国連に積極的に貢献するために各代表がどのような働きを求められているのかについて深く理解することができました。



Mr Nemotoと、Akino、Marlinah、Ji Hye



KIST MUNハイスクール代表

高等部の代表者たちはこのイベントで議論し、2つの世界的な問題の解決策について提案と討論を行いました。1つ目のテーマは、「臓器密売や、臓器目的での人身売買の防止と対応」。2つ目は「太陽系の有人開発と火星への移住に向けた国際企業の技術共有の促進」でした。また、中等部の代表者は、「使い捨て容器やマイクロプラスチックが世界の海洋環境に与える影響」について議論しました。代表者たちは自身が代弁する国の立場で立派に議論に貢献しました。

今回の模擬国連は多くの参加者にとって初めての経験でしたが、全員が熱心に議論に貢献し、積極的に発言を行いました。多くの学校が参加したため、代表者たちは他校生との交流も楽しむことができました。参加者全員が会議を楽しまれ、そしてこれからも毎年模擬国連を主催できることを願っています。

Akino (G12B)、**Ji Hye** (G12A) と **Marlinah** (G12A)

ミドルスクール代表による振り返り

G6で初めて壇上から開催のスピーチをした時のことを今でも思い出します。手の震えは止まらず、自分の声ではなく、心臓の音がやけにはっきりと聞き取れました。私を見つめる無数の視線が刃のように突き刺さってきました。人生最初の模擬国連はとにかく緊張の一語に尽きました。動議をはじめとする様々な手続きや流れに困惑するばかりでしたし、言葉に詰まったりもったりしてしまいました。またそれ以上に、他の代表者の発言内容がまったく理解できなかったのです。

ミドルスクール模擬国連に参加した3年間で私は一度自信を失い、そこから新たな力と自信を身につけました。新しい友人関係や世界についての知識を広げることができました。そして代表者は自身の国の利益を追求するために対立したり、議論を戦わせたりしますが、最後にすべての国々が意見を一致させ、協力しなければならないということを学びました。「模擬国連会議」と呼ばれる所以はそこにあるのだと思います。

是非、将来の「模擬国連代表」に参加を勧めます。参加後は必ず知識や自信だけでなく、新しい思い出とかけがえのない経験を持ち帰ることができるはずです。この3年間の旅路で私を支えてくださった皆さんに感謝します。

Remi (G8A)



KIST MUNミドルスクール代表



IGCSE News

Advisoryの授業で、Grade 9の生徒達は効率の良い学習方法について学んでいます。生徒たちはスケジュール作りを行い、学業とその他をどう両立すればいいのかについて考えました。自ら計画することによって、責任を持ち、効率的な勉強方法を見つけ出し、スケジュール管理能力を身につけました。作り上げたスケジュールは、ホームルームの教師と確認し、生徒個人にあっているか、現実的か、バランスがきちんと取れているか等について話し合いました。完成したスケジュールは、その後生徒たちが保護者にメールしました。スケジュールのコピーが保護者の手元にあることによって、家庭で生徒の学習をより支えることが可能になります。

そして、G9の生徒達は、KISTに新しく導入されたIGCSEがどのように評価されるのかについて説明を受けました。IGCSEの外部評価対象である課題は、1から9(9が最も高い成績)の数字で評価されることを知り、どのような課題が出されるのか、評価基準などの詳細を理解しました。最終的に、生徒たちは各教科の評価や教科ごとの評価基準に疑問を持った際、教師に積極的に質問することを勧められました。

John Rose
IGCSE Coordinator

This article was translated by Ayaka (G12B).
この記事は G12B Ayaka が翻訳しました。



音楽最新情報

KPASS solo and ensemble festival (vocal and piano)

11月16日にKIST生はISSH(聖心インター)での KPASS solo and ensemble festival に参加しました。6名がピアノ演奏を行い、2名が歌で参加しました。

生徒たちは自身が披露する曲を熱心に練習し、当日に臨みました。結果は以下のとおりです。

- 金メダル(歌)—Sara (G12A)
- 銀メダル(歌)—Hamsika (G9A)
- ソロピアノSuperior performance—Junya (G11A)
- ソロピアノExcellent performance—Stephen (G10B)、Ketan (G9B)、Keanu (G9A)、Jessie (G9A)、Yudai (G9B)



Ketan (G9B)



おめでとうございます!

Makiko Duran
Secondary Music Teacher



Grade 7キャンプ

G7 Campでは皆にお気に入りの出来事がありました。皆で協力していくつかの楽しく、時に難しい、料理や暗闇でのハイキングなどのアクティビティに取り組みました。今回のCampでの忘れられない、楽しかったアクティビティについてのアンケートを取りました。以下がその結果です。



トップ5

#5

温泉！！一緒にリラックスした時間

#4

部屋でのいろいろ！（例：まくら投げ、レスリング、カードゲームなど）

#3

静寂の中で行い、夜行性の生き物を観察したナイトハイク。
月光に照らされた富士山を見ることもできました。

#2

バスでの移動。バスは、とにかく…とてもうるさかったです！バスの後部の人たちは歌っていて、中央部はカードゲームに興じ、前部は、多分おしゃべりをしていました。そして休憩に立ち寄ったサービスエリアの一つにはまさに皆が求めていたもの：タピオカドリンクがありました。

#1

今回のキャンプで最もみんなに愛されたアクティビティは、カヤックでした！！
アンケートに答えてくれた人の半数がカヤックに投票しました。目的地に到着して、昼食をとった後にカヤックに取り掛かりました。カヤックにはチームワークが何より大切です。同じカヤックに乗った相手（2人一組）と力を合わせなければなりません。教えてもらった通りに漕がないと、カヤックが転覆したり、どこかに流されてしまうかも知れないからです。

Campではいろいろ大変なこともありましたが、自分達の「安全地帯」から踏み出すことで成長する事が出来たと思います。

Takeru (G7A)

次のページに続く

前ページの続き

Grade 7キャンプの振り返り・・・

数時間のバス移動の後でリゾートに到着しました。そこからは湖と富士山の絶景が臨めました。バスでのカードゲームに疲れ果てて、ロビーに荷物を置いた後は他の仲間同様座り込んでいました。でも、立ちあがって移動するように言われました。車に轢かれてしまわないよう、一列になって自分達の食事、カレー、を作るための場所に移動しました。ご飯を炊く班に参加したので、新聞紙と薪と鏡、そしてシシフォスの果てしない作業に思われるちょっとした事件を使って焚火に火をつけました。お米を炊いている間、風が吹きつけて、ポンペイの噴火を思わせる灰に襲われました。煙のせいで噎せて泣きながら、Junuの首に張り付いた大きなクモを見つけ、退治しました。

おいしく、気分転換にもなる昼食のあとで、坂をちょっと下ったところにあるカヤック乗り場に移動しました。数秒ごとに強い風が集合場所に吹き付けていました。パドルを手に取り、インストラクターの周りに集合すると、このような強風の日は転覆しないように十分注意するようにと教えてくれました！自然と、自分が信頼できるパートナーを選ぶことになりました。船出すると、怠け者な自分達は皆に遅れてしまいました。パートナーは左右が分からないので、いくつか小さな問題が生じました。永遠に思われる航海が終わると、スタート地点に戻りましたが、防水ジャケットの内側に大量の水がたまっていることを発見しました。

リゾートに戻ると、宮殿の中にいる心地がしました。もちろん、ベルサイユとまではいきませんが、すくなくともエディンバラ宮殿ではあったと思います。暖かい服に着替えると、2時間の自由時間でした。ルームメイトのカードゲームを見つけたので、それで遊ぶことに決めました。彼にルールを教えてもらい、すぐにプロ並みにプレイできるようになりました。4時頃に自分達を癒すために温泉に向かいました。その後、夕食に呼ばれました。僕が見たところ、前菜から食後のコーヒーまで用意されたフランス式のビュッフェでした。夕食後にはナイトハ

イクが待ち受けていました。

呼び出されて、バスに乗り、5分もすると一筋の明かりもない真っ暗な場所にいました。ガイドさんが懐中電灯を使ってはいけないことと、迷子にならない方法を教えてくれました。ハイキングというよりは散歩のレベルでしたが、気付くと森の奥にいました。そこで静かに座って、町では味わえない、けれど貴重な静けさを味わうように言われました。数分後、僕は横になることにしたのですが、その際に大きな枝を下敷きにしてしまいました。ただの枝なのに、大きな木が雷に打たれたような想像以上に大きな音がしました！次に、自然にできた穴に住むネズミを観察しました。ネズミの穴は動物には見えない赤い光に照らされていました。そこでネズミを目撃しました！僕はネズミがごそごそ動き回るのを見て楽しみました。また、自分達の気持について学ぶ友情についての授業もありました。その後は部屋に戻って、10分後にはもう布団の中にいました。でも、自分でも予期しないことに、午前2時まで眠れませんでした。その理由の一部は皆の押し殺した笑い声やドアへのノック、モーター式時限ハブラシのせいですが、ほとんどは僕自身の興奮のためでした。

次の日は不思議と元気いっぱい朝6:25ちょうどに皆で起床する事ができました。歯を磨き、朝食に急ぎました。昨夜と同じ形式のビュッフェでしたが、もっとおいしかったです。その後、5分きっかりで荷物を持って部屋を後にしました。昨夜の授業があったのと同じ部屋で、昨日同じような楽しい授業を受けました。

授業の後で、バスに荷物を積み込んだ後で、近くの山に行きました。10分間の必死の登山の結果頂上に到達しました。僕はものすごく下に何かを投げたい衝動に駆られました。思いどまりました。後方には大きな滝があって、11月中旬にも関わらず、そこで楽しく遊びました。



帰りのバスでは、部屋でブラックジャック21をしていた同じメンバーで数時間をカードで過ごしました。学校が見えてきたときはもっと休みを満喫できるよう、交通渋滞を望んでしまいました。到着後は解散し、帰宅の途につきました。学校の外で皆と楽しく過ごせた素晴らしい時間で、僕にとってはこれまでで一番楽しい体験でした。

Brian (G7A)

G8が国会議事堂を訪問

2019年11月14日にG8は日本政府がどのように機能しているのかをよりよく学ぶために国会を目指しました。衆議院議長公邸に足を踏み入れると、インテリアの細部にわたるまで緻密な配慮がなされていることに感銘を受けました。建築自体も非常に美しく、日本文化の要素を取り入れたものでした。赤の鐘状花などの象徴的な模様は日本の古い物語に端を発したものです。シャンデリアから庭園に至るまで全てが日本文化の美を内包したものでした。全ての日本美の特徴を表す絵画や彫刻もいくつも飾られていました。ここは外国の要人の日本への公式訪問や議員との会談の場として用いられているそうです。

議長公邸の後は国会議事堂をご案内いただきました。議事堂内部に入ると物語中の人物になったような、なんだか不思議な気持ちになりました。よく磨かれた大理石の床は蛍光灯の下で輝きを発していました。壁や柱、天井や床には精緻な模様がほどこされていました。壁の一つにはかすかな鶴と松の彫刻が見られ、また別の壁には日本の皇室の紋でもある菊の図案がほどこされていました。校外学習というより宝探しをしているような気すらしました。一つの部屋に入るたびに、「次は何が見つかるか？」という不思議な高揚感がありました。最後の見学先は本会議場でした。これまでもテレビでこの会議場を見たことがありましたが、実際に足を踏み入れるのは初めてでした。議場は想像していたよりずっと大きかったです。深紅のビロード張りの椅子でいっぱいの議場の壁はすべて花や鉢の素晴らしい彫刻がなされていました。天井にはスタンドグラスがはめられ、そこから差し込む陽光が議場を更に幻想的に見せていました。

外から見ると、国会議事堂は無機質な古い建物に見えましたが、実際に入ってみると、日本の文化や美を象徴する緻密な装飾に圧倒されました。国会議事堂は、日本の昔話が顕現したようでした。今回の校外学習は本当に忘れられない貴重な経験となりました。

Remi (G8A) と Neha (G8A)



教員養成計画

生徒たちに質の高い教育を提供するためには、有能な教員を確保し続ける必要があります。世界中で教員の需要が高まる中、生徒に高スコアを取得させることのできる有能な教員、特にDPを教えることに優れている教員は限られています。

エレメンタリー担任およびセカンダリー教科の教員として長期的に働く意欲のある有能な教員を確保するため、2019-20年度より英国サンダーランド大学と提携を結び、教員養成計画を実施することになりました。この計画を通して、教員としてのキャリアを始めることに関心のある者は、KISTにて経験豊富な教員をメンターとして現場で実務的な研修を教育実習生として受けながら、一年の大学の通信教員育成講座を完了することができます。

参加する研修生たちが、KISTにおける教育プログラムへの挑戦の意義を完全に理解していること、そしてKISTで長期

的に働くことを確保するため、この教員養成計画に参加できるのは、大学課程を終えたKIST DPで好成績を残した卒業生、またはKISTにて現在勤務している教育スタッフ(ELSインストラクターやティーチングアシスタント)に限られます。

この教員養成計画は、将来的に、現在勤務している教員の転職や退職に対して、有能な教員の数を確保するうえで非常に役立つと考えていると同時に、生徒に対しても大きな利益をもたらすと期待しています。

Craig Larsen
Director of Admissions and Personnel



G11の熱海合宿

「冒険は三日、思い出は一生」

DPという旅はG11キャンプから始まりました。8月28日から30日、二泊三日の熱海キャンプで、私たちはチームワークを鍛えることを目標にした作業などを通して、DPを乗り越えるために必要なスキルを学びました。その他にも、私たちにはまだ新しいTOKやEEなどの説明を受けました。

キャンプの初日、私たちはバスで2時間ほどの所にあるホテルに到着しました。空き時間ができれば、友達と会話をしたり、ゆっくりと休憩したりなど、心身ともにリラックスしました。キャンプでの作業はとても魅力的でした！初日にはMr Hiro主催のチームワーク強化作業や、Mr Smith、Mr Waterfall主催のEE・大学説明会などがあり、その他にも、Ms Child、Mr Rose主催の料理体験も行いました。キャンプは学業面だけではなく、協調性やチームとしてお互いを思いあう力、さらに、心から楽しめる料理体験など、様々な力を身につけるための行事なのだと実感しました。

二日目、私たちは初日に引き続き協調性やチームワークを強化するために、Mr Celyが主催した「ドミノスタッキング」というゲームをしました。(ゲームの説明、どうやってチームワーク強化につながったか)。屋外風呂もあり、同性の友人たちとの仲を深められました。その後のトレッキングに体力を奪われましたが、とても楽しい体験でした。Mr Smith主催のTabataフィットネストレーニングにも参加しました。学びと遊びを組み合わせた魅力的なアクティビティを主催して下さった先生方にとっても感謝しています！

Class of 2021のDPキャンプはただのキャンプではありませんでした。様々な作業を通して、DPの過酷な2年間を乗り切るために必要なスキルを学び、2年間支えてくれる友達と先生との絆を深められる体験でした。作業やゲームは先生方によって丁寧に計画され、個人の悩みや不安はキャンプ最終日には軽減されていました。チームワーク強化の際、私たちはクラスメイト、そして一番の味方である友人の大切さを

再認識しました。どんなに過酷な日々が続いても、私たちには支えてくれる仲間がいる、そして、支えてあげようと思える仲間がいるのだと痛感しました。料理体験やトレッキングだって、私たちの料理技術や体力を鍛えるために用意されたわけではありませんでした。私たちの忍耐力、新しいことに挑戦する勇気を鍛え、複雑な人生のなかで簡単に得られるものなどないことを教えてくれたのです。キャンプは私たちに自分の体と心について振り返る機会を与えてくれたのです。勉強も大切、しかし、自分の趣味や体・心のケアを忘れないことが大切なのです。

キャンプでの三日間は一秒も忘れられない、私たちClass of 2021の記憶にしっかり刻み込まれる経験になったことでしょう。

Ravi (G11B) and Leah (G11A)

This article was translated by Michiru (G12B) and Arata (G11A).
この記事は G12B Michiru と G11A Arata が翻訳しました。



G12 経済の生徒が日本銀行を訪問

「日本銀行」と聞くと、お金がぎっしり詰まった建物を想像するかもしれませんが、この想像はある意味正しいかもしれませんが、G12経済クラスの生徒は完全には同意しないでしょう。11月12日の火曜日に日本銀行を訪問した後では、この施設の役割がただお金を大量に保管するだけではないということを知ったからです。日本銀行は値段や財務制度の安定を維持し、日本経済の安定と成長、発展を促進する重要な一端を担っています。これは現在経済成長が0.2%となっている日本にとって非常に重要な役割です。

昼休みに学校を出発し、まず、銀行最寄りの三越前駅を目指しました。日本銀行の見学ツアー開始前に、日本銀行本館に隣接する貨幣博物館に立ち寄りしました。博物館の展示から、日本の通貨の豊かな歴史に触れ、感銘を覚えました。特に、何百年も前に使用されていた重みのある硬貨を持ちあげた時、当時の歴史的、文化的生活に思いをはせました。また日本の通貨、特に当初大判の紙幣から現在の硬貨に至った100円の変遷に興味を覚えました。日本の通貨の変遷のほかにも、世界の通貨の発達についても学んだことは経済や財務に関心を持つ者にとって思い出深い経験となりました。

銀行の一部が建設中(本館が耐震改修工事中)であり、金庫室を見ることはできませんでしたが、日本銀行の業務を知るのに重要な部分を見学し、学ぶことができました。まず、広報部のスタッフの方にお迎えいただき、日本銀行設立の目的や主要な業務や経済成長やその効率化を確保するための方針について簡単にご説明いただきました。またご案内くださった方に流通についてさらなる質問をする機会にも恵まれました。この訪問の前にも授業で流通政策や主なマクロ経済の目標について学びましたが、実際に学んだ理論が実践されている場所を訪問できたことは貴重な実体験でした。

この訪問はG12経済クラスにとって貴重な経験となりました。クラスの象徴的な「日本銀行ポーズ」での記念写真を取ることもできました！この機会を提供してくださったMr Erickson と Mr Knuchel に感謝します。

Aryan (G12B)



BANK OF JAPAN



運動部最新情報

Kanto Plains Cross Country



KISTから3つの試合に32名のセカンダリー生を送り込み、男女ともにチームとして好成績を残しました。コーチのMs Thomasから写真とコメントをいただきました。



KIST MS Boys' Cross Country



KIST MS Girls' Cross Country

今年は、Ms Cobbsと一緒にセカンダリーのクロスカントリークラブを指導し、KISTの年長の生徒や、以前担任した生徒を再び指導できることを嬉しく思います。9月にあった最初のKanto Plains Leagueの試合の準備のために、8月から練習を開始しました。練習は木場公園での安定したスピードでのランや、インターバルトレーニングなど、多岐にわたりました。あるときは5キロのコースで有名な皇居外周で練習するため、電車で移動したりもしました。この景色のよい場所での練習には多くの参加者がありましたので、今後も是非取り入れたいと思います！

台風19号の影響で試合の一つは残念ながら中止となり、また、KISTivalと日程が重なってしまったため、最後のKanto Plains Leagueの試合に参加できなかった生徒もいましたが、ミドルスクール男子チームは多くの強豪インターがひしめく中、参加部門の中位でシーズンを終えることができました。

公式のシーズンは終了しましたが、4月末に行われるISTAAクロスカントリーの選考を兼ねた、4月初旬のKISTクロスカントリー大会に向けて準備するためにも、これからも毎週金曜日に練習を続けます。

Bethan Thomas, Emily Cobbs, Florent Debouverie
Secondary Cross-Country Club Coaches

Kanto Plains MS Boys' Soccer

KISTは2回目となるA-Pool MS 11人制男子サッカーのシーズンを、ASIJでのトーナメントでは6勝2敗で総合3位という優秀な成績で終えることができました。トーナメントでは主要プレイヤーが何名か参加できないという不運にも見舞われましたが、なかなかない、素晴らしいシーズンでした！



KIST MS Boys' Soccer

Kanto Plains HS Boys' Tennis

KIST初のテニスシーズンでは、St Mary's, ASIJ, YISとCAJの試合でいくつかの勝利と敗退を経験しました。8名の男子はコーチのMr Jamalとの毎週の練習を行い、ASIJでの最後のトーナメント戦では、ダブルsteamの一つが準決勝まで進みました。素晴らしい成果です！



ISTAA Volleyball

Mr Lee率いるComet U-18チームは、ホームでの試合で、素晴らしいラリーが行きかう見ごたえある接戦を演じました。残念ながら男子チームは大変の試合で惜敗し、リーグ4位に終わりました。女子チームは最終トーナメントでBSTに負けたものの、KAISとCISに勝ち、総合3位となりました。男子チームはKAISには勝利したものの、準決勝で25-23、25-23でコロンビアに惜敗、その後BSTとの3位決定戦で、セットカウント2-1で負けてしまいました。今回男子チームには高等部生が1名しかいませんでしたが、来年はより良いシーズンになると期待しています。



KIST U-18 Volleyball teams

Dennis Ota
Athletics Coordinator



私から始める、より良い私へ



参考資料:

Sun, C.J. (2019) *Funny Thing about Self-Awareness*. Retrieved on 22 November 2019, from <https://www.conniewonnie.com/2019/02/funny-thing-about-self-awareness.html>

前回の *The Comet* で、Ms Holdaway が社会的精神的学習 (SEL) の重要性についてご説明し、学校で SEL の授業に採用している CASEL の枠組みについてご紹介しました。今回は、健全な判断につながる健康的な社会性の基礎となる **Self (自己)** の発達についてお話しします。

何を?

- 自己認識・自我: 「自身の考え、感情、価値観を認識し、自身の行動を処理・許容できる能力」
- 自己管理: 「認識するだけでなく、感情、考え、行動を制御できる能力」

何故?

より良い自己認識と自己管理能力がある生徒は生活のあらゆる面でより良いパフォーマンスを行うことができ、その教育コミュニティもより生徒を育むのにふさわしいものとなります。私たちは生徒がストレス耐性を身に付け、不安に対応できるようになることを望み、教師には感情的に安定し、より生徒を触発できる存在となるよう、保護者の皆さんにはお子さんの発達や成長を意義深いものとしてくださることを願っています。

どのように?

より良い自己認識と自己管理能力を発達させるために、(生徒、保護者、教職員を問わず)行っていただけの3つの簡単なアクティビティをご紹介します。

1. **自分のためのミッションステートメントを作成する:** 自分にとって大切なものを明確にし、自分にとってのゴール設定を行う指標となります。
 - ミッションステートメント作成にあたり、以下の質問を

念頭においてください: 「自分の人生において大切な人は?」「自分が好きなことを10挙げる」「今から5年後に自分にとって身近な人3名が新聞のインタビューを受けるとしたら、それは誰で、自分についてどのようなコメントをするか?」

- 自分の好きな格言を集める。これらの格言を集約したものが自分にとってのミッションステートメントになる。
 - こちらのウェブサイトの資料 (<https://msb.franklincovey.com/>) もミッションステートメントの作成や自分を啓発する人々についてのヒントを与えてくれます (Martin Luther King Jr. の 'I have a dream...' は彼の人生の選択や職業に影響を与えました)。
2. **後悔していることについて手紙を書く:** 反省や振り返りは自己認識力を高めます。
 - 昔の自分にこれまでの人生で後悔していることや、謝罪する機会がなかったことについて反省の手紙を書く。これを書くにつれ、昔の未熟な自分を受け入れ、将来避けたい行為について意識が高まります。
 3. **毎日感謝する:** これにより既に持っているものを認識し、人生のストレスに立ち向かうために持っているものや能力に気づき、集中することができます。
 - 毎日、何かしら感謝することを探す時間を設けましょう。例えば、夜に、その日一日で起きたことを振り返り、感謝したい人や物事について考えましょう。もしくは一日の始めに感謝したい人を思い浮かべ、それを表すようにしてみましょう。
 - 自分が特に感謝している人に手紙、メール、メッセージを書いて送りましょう。
 - 「感謝の小石」(または何か小さなもの) を持ち歩き、目に入るところに置いておきましょう。それが目に入ったり、触ったりするたびに一旦、自分の人生を彩るものについて考えてみましょう。

保護者の皆様へ、

KISTでの生徒ケアについてもっとお知りになりたいようでしたら、以下 PowerSchool Learning page をご覧ください。

 <https://kist.learning.powerschool.com/student.care/studentcareforparents/>

参考資料:

- Covey, S. (2014) *The 7 habits of Highly Effective Teens*, New York, NY: Franklin Covey Co.
- Scott, S.J. (2019) *33 Self Awareness activities for adults and students*, Retrieved on 22 November 2019, from <https://www.developgoodhabits.com/self-awareness-activities/>
- Waterford.org (2019) *15 Activities for Teaching CASEL Core Competencies*, Retrieved on 22 November 2019 from <https://www.waterford.org/education/15-activities-for-teaching-casel-core-competencies/>

Evelyn Pang
Student Care Coordinator (G9-G12)



クラブ活動のハイライト



Zineクラブ(エレメンタリー)

Zineとは何でしょうか？雑誌magazine(zeen)のような発音ですが、zineとは著者が好むトピックについて自主的に発行される本のことです。編集者、出資者や先生を喜ばせる必要はありません！どんなトピックについてでも自分で書いて、描いて、切って、貼って、編集して、自分で楽しめます。

今学期のZineクラブの作家たちは、自分たちの想像力を飛躍させています！数人の生徒たちはコンピューターを使って甲虫、アイスクリーム、美しい場所やウサギについて調べ、学んだ事実や写真を自分たちのzineに生かして絵を描いたり文章を書いたりしています。また他の生徒たちは、迷路で複数のzinesを作るのに熱中しています。そしてほぼすべての生徒が、自分たちのzineで使う材料を家から持ってきていました。フェルト、キラキラペン、シール、スタンプや色とりどりのマスキングテープなど、zineのあるべき姿に制限はなく、生徒たちは自由に想像を巡らせ、創意工夫を楽しんでいます。

現在、生徒のzineをエレメンタリーフォイヤーにてご覧いただけます。是非zineを手にとって、素晴らしいエレメンタリー作家たちの情熱と創造性を感じてみてください。そしてもし魅了されたなら、来学期はzineクラブに参加してください！



Aya McDonough
Club Supervisor



IGCSE Band クラブ(セカンダリー)

今年から、G9 IGCSE音楽クラスの要件に伴いより大きな編成のバンド活動を提供しています。今年のバンドメンバーは16名で：ドラム1、ボーカル2、トランペット1、フルート1、バイオリン1、ピアノ4、ギター4、ベース2という構成です。練習は毎週火曜の放課後に行っています。また、練習の成果を発表するため、KISTivalで2曲披露しました。皆さんも演奏を楽しんでくださいましたか。

生徒は学校だけでなく家でも熱心に練習していますので、皆さんにもぜひ、今年のwinter concertで生徒の演奏を聞いていただけることを願っています。今年は"Take the A-Train"と"Do You Wanna Build a Snowman?"を演奏予定です。



Makiko Duran
Club Supervisor



図書室ニュース



KIST Libraries PowerSchool page

KIST図書パワーブックページはKISTコミュニティの皆さんにアクセスしていただけます。

Web <http://bit.ly/KIST-Libraries>

The Comet先号発行後に図書チームは以下役に立つコンテンツをこのページに追加しました。

- **図書情報** – 貸し出し可能数確認
- **オンライン資料** – JSTOR学術誌のデジタルライブラリ、書籍やその他資料
- **5分間ニュース** – 日本や海外についての多言語ニュース
- **Scholastic** – 学校図書室をサポートする方法
- **ソフトウェアガイド** – AdobeとMicrosoftの使用ガイド

LMCチェス

チェスはLMCでリラックスしたり、友達を見つけるのに人気のゲームです。

Si Yuan (G6A) が Mr Tim が12個の新しいチェスセットの確認と設置を手伝っています。



図書資料

LMCには書籍以外の資料も多くそろっています。

図書室所有の24個のコンパクトカメラがしっかり機能していることをチェックしてくれた図書チームの Travis と Noa (G7A) に感謝します。これは彼らのITサービス活動の一環として行われました。



セカンダリーではこれらカメラを生徒がキャンプやロボティクスの記録を残したり、動画作成、美術の課題、KISTv ビデオ制作など多くのことに活用しています。



サクラメダル 2020

今年のサクラメダルコンテストの推奨作品をすでに多くの生徒が楽しく、または課題として読み始めています。

生徒が楽しく、または課題として読み始めています。



サクラメダルの **Middle School**部門の18冊も用意できています。生徒はこれらのうち3冊を読み、お気に入りの1冊を投票します。KIST生が選んだ本は他のインター生が選んだ本と共に来年集計され、優勝作品が決定します。

今の時点で最も投票があったのは Jen Wang 作 *The prince and the dressmaker* と Marissa Meyer 作 *Renegades* です。

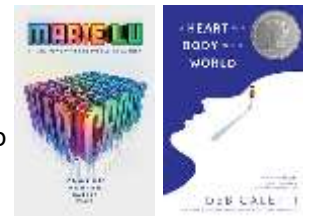


Web <http://bit.ly/KIST-Sakura-2020-MS>



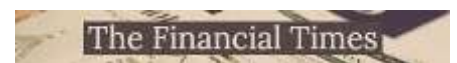
High School生には21冊の候補作を用意しています。こちらも3冊読んだ中から1作品に投票できます。

今の時点で最も投票があったのは Marie Lu の *Warcross* と、 Deb Caletti の *A heart in a body in the world* です。



Web <http://bit.ly/KIST-Sakura-2020-HS>

The Financial Times



KIST Online Resourcesのページから16歳以上の生徒は The Financial Times オンライン版とモバイル版にアクセスできます。

Web <http://bit.ly/KIST-Online-Resources>

Economics, BusinessそしてGeographyを履修している生徒に役立つ最新記事が載っています。お勧め記事が集められたオーディオ版もあります。

Scholastic

Scholastic Bookカタログを通してKIST図書室をサポートしていただける方法はこちらです。

Web <http://bit.ly/KIST-Scholastic>



Riu (G6A) と Jackie (G6B) が7~11歳児を対象としたScholasticカタログと、Teen Book Clubを紹介しています。



Scholastic のエレメンタリー図書ポイントで購入した本です。ありがとうございました!

次のページに続く

前ページの続き

LMCニュース

LMCチームは常に生徒と教員のサポートをしていきたいと願っています。音楽系ジャンルの蔵書の充実を目指し、音楽や踊り、世界の音楽、楽器や音楽論についての書籍を追加購入しました。また、科学系の蔵書を生徒の課題やプロジェクトに役立つように分類しなおし、生徒の将来の進路選択をサポートするために大学進学関連の資料も増やしました。

フィクション、ノンフィクションともに多くの蔵書が皆さんを待っています。世界の知識を増やしたい人には2020年ギネス記録ガイドブックも用意しています。ヤングアダルトセクションには: Game of Thrones、The Tattooist など人気作品がそろっています。スタッフには専門書籍や参考となる資料がそろっています。

是非LMCにお気に入りの一冊を探しに来てください。もし、困ったことがあったら、いつでも声をかけてください。

KIST Libraries
Team



Staff 10!

今月のStaff 10!では2013年8月からエレメンタリースクールでGrade 5のクラス担任として勤務している**Scott Grant**を紹介します。



Mr Grant and family having fun at KISTival.

1) 出身地について面白いことを教えてください。

私はスコットランドのブレアゴリーと呼ばれるパースシャーの小さな街から来ています。そこは世界のラズベリーの首都および高原への玄関口として有名です。他の地元の魅力としては、世界で最も高く長いブナの垣根や、グレンシースキーセンター挙げられます。

2) 世界で一番好きな場所はどこですか？

素敵な景色が見える山につながる未舗装の道があるところ。

3) チャンスがあったら会ってみたい人は誰ですか？その理由を教えてください。

母方の祖母です。残念なことに、私が生まれるほんの少し前に亡くなってしまい、会うことができませんでした。

4) 何か特別なスキルやタレントをお持ちですか？

私は熱心なアマチュア写真家です。私の古いフィルムカメラを使って写真を撮影し、シャワーのような簡易の暗室で現像するのが特に好きです。

5) ご自身についてあまり知られていないことを教えてください。

ティーンエイジャーの頃に、ナショナルリーグのバスケットボールチームのキャプテンとしてスコティッシュカップのファイナルまで進出し、試合で決勝点を挙げる事ができました。

6) あなたにとって一番の宝物は？

時間です。

7) あなたはどのIB学習者像を身近に感じますか？その理由もお聞かせ下さい。

思いやりーこれまで人生で受けてきた多くの人々からのサポートと助けなしでは、今の自分はありません。

8) もう一度人生をやり直せるとしたら何か他のことをしたいですか？

もし可能ならいくつかの事柄について、違うやり方でやりたいたいと思うことがありますが、人生の浮き沈みはその両方が同じくらい大切だと考えています。

9) 自分を高めるために今やっていることは？

先ほど書いた通り、私は写真を撮るのが好きで、いつもその決定的な瞬間を撮ろうと努めています。写真の現像だけでなく、暗室でどのようにプリントを作成するのか学ぶことに熱中しています。



10) ファンに一言お願いします。

毎日学校に来て皆さんから元気を与えられていることを、光栄に思っています。ありがとうございます！

緊急連絡

授業、遠足、親のワークショップ、KIST保護者会(CA)の会議議事録、健康警告などに関連する一般的な学校の通知は、E-Communicationsシステムを通じて送信されます。送信されたメッセージのアーカイブは、以下のリンクのKISTnetでアクセスできます。

Web [E-Communications 2019-2020 Archive](#)

ただし、流行性疾患、悪天候などによる学校および学年/クラスの閉鎖の通知は、E-Communicationsを介して送信されません。代わりに、それらは別の**緊急連絡システム(ECS)**を介して送信されます。

このシステムを通じて、家族はいくつかの個人用電子メールアドレスをシステムに直接登録して、学校から緊急通知をタイムリーに受信することができます。学校はメールアドレスを更新できないため、ECSを介して直接更新するのは保護者の責任となります。**メールアドレスを変更されたい方はご自身で更新しないと、緊急時に学校から重要な情報を受け取れない可能性があります。**

ECSログインページには、学校のウェブサイト「Community」のポータルから(以下のリンク)アクセスできます(ログインが必要です)。説明ガイドもご利用下さい。

Web <https://www.kist.ed.jp/user>

ECSへのアクセスについてご質問がある場合は、ITサポートチームにお問い合わせください。
it.support@kist.ed.jp

保健便り

免疫システムとは

通常、免疫システムは私たちの身体を感染から守ってくれています。免疫システムが働き細菌や病原菌を攻撃することで健康を維持しています。しかし冬の寒い季節に人はなぜ風邪を引きやすいのでしょうか？The New England Journal of Medicineによると気温が低い環境に身体がさらされると免疫系が抑制されやすいことが立証されています。感染予防策として、自分の免疫力を高め維持することで、仮に病原体が身体の中に入っても、病原体を撃退し感染を防ぐことができます。

身体の中で免疫システムに主に関わっているのは

- **白血球**: 血液成分の一つの白血球は細菌やウイルスなど(病原体)の侵入に対し身体を守る働きをしています。病原体が体内に侵入すると白血球が増加し、病原体を細胞内に取り込み無害化します。
- **リンパシステム**: 身体に侵入した病原体がリンパ節で発見されると、リンパ球による免疫反応が開始されます。例えば、T細胞と呼ばれるリンパ球は、リンパ節の中で病原体を見つけ活性化し、キラー(殺し屋)T細胞やヘルパー(キラーT細胞のサポート役)T細胞に変化します。
- **骨髄**: 骨の中心にある軟らかい部位で赤血球、血小板、白血球の産生場所であり、白血球の一部である免疫システムに関わるリンパ球も産生しています。

免疫力を上げ感染を予防するには

1. 腸内環境を整える

- 発酵食品には腸内環境を整え健康に利益をもたらすプロバイオティクスを含んでいます。生物学者が発酵食品に含まれる微生物が腸内で必要な物質だけを腸管内に取り込み、不要な細菌を遮断するバリア機能を改善する働きがあることを発見しています。積極的に発酵食品を摂取しましょう。

一般的な発酵食品は

- ヨーグルト・チーズ
- ザワークラウト、キムチ、漬物類
- 味噌
- 納豆



これらの発酵食品は腸内環境を整えるプロバイオティクスである乳酸菌が豊富に含まれています。

参考資料:

- Bell, V. (2018). One Health, Fermented Foods, and Gut. *PubMed*, 7(12), 195. doi: 10.3390/foods7120195
- Harvard Health Publishing: Out in the cold. (November, 2019) Retrieved from <https://www.health.harvard.edu/staying-healthy/out-in-the-cold>
- WebMD: Excise and the common cold. (November, 2019) Retrieved from <https://www.webmd.com/cold-and-flu/cold-guide/exercise-when-you-have-cold#1>

2. 免疫力を高めるタンパク質、ビタミンAとCを含む食品を摂取する。

- タンパク質: 魚、卵、豆類、豆製品、肉、カッテージチーズ、ギリシャヨーグルト
- ビタミンA: ほうれん草、ブロッコリー、かぼちゃ、にんじん、レバー
- ビタミンC: オレンジ、グレープフルーツ、みかん、キウイフルーツ、イチゴ、ほうれん草、かぼちゃ、ケール、ブロッコリー



3. ストレス解消を心がける

- ストレスを受けると自立神経のバランスが崩れやすく、腸内細菌の変化(善玉菌と悪玉菌のバランスの乱れ)を引き起こし結果、抵抗力の低下やストレスホルモンの増加に繋がります。
- ストレスはリンパの働きも弱めます。病原体と戦うリンパ球の数が少ないとウイルスなど風邪を引くリスクが高くなります。
- 入浴は簡単なリラクゼーション法です。

4. 体温と基礎代謝を上げる

- 定期的な運動は筋力アップと体温が少し上がり汗をかきやすくなり身体の代謝を上げるのに有効的です。
- アメリカの医学雑誌によると毎日30分一年歩いている人は運動をしていない人より風邪を引く率が約半分に減少するデータもあります。
- 入浴はストレス軽減だけでなく体温と代謝アップにも効果的です。

5. 免疫システムを上げるその他の方法

- 十分な睡眠は感染予防に効果的です。逆に寝不足は免疫システムを酷使し身体にストレスがかかり免疫力の低下を引き起こしやすいです。
- こまめな手洗いと歯磨きによる口腔内の清潔を保つ。

Yukiko Yamazaki
School Nurse



大学ガイダンスニュース

本校の生徒が PSAT・National Merit Scholarship Program にノミネートされました

昨年の10月150万人の生徒がPSAT・National Merit Programを受験しました。試験の結果、上位5万人(対象は米国籍保持者に限る)がこのスカラーシッププログラムにノミネートされます。昨年度の結果が最近発表され、Erika



PSATの賞状と
Erika(G12B)

(G12B)が、この世界のトップ5万人に入りました。本校の生徒は大学合格を目指して、IBディプロマ取得に向けてのハードワークだけでなく、さらにほかの試験や語学試験を受けたり、さまざまな課外活動もこなしています。生徒たちの努力の結晶を誇りに思うとともにさらにプログラムでの成功をおさめてくれることを期待しています。

KISTではPSATテストを10月に実施し、約6週間後に結果がでますが、National Merit Scholarship Programへの表彰結果は翌年度に発表されます。

大学出願シーズンが始まりました!

今、大学出願シーズン真っ只中です。12年生44名全員に、IB予想点(PGs)が発行され、生徒は出願大学リストを絞りこんだり、早期出願をしたりしています。大学が指定した出願期限が1学期の終わりまでの場合は、生徒は12月13日までにすべてを終わらせなければなりません。12年生はこのもっとも忙しく困難な時期をなんとかこなさなければならぬのです。ぜひ皆様の温かいサポートをお願いいたします。

またカウンセリングオフィスは現在11年生と今年初めての

一対一の面談を行っています。この時期はまず各生徒がどのような分野や大学を目指すかを考えはじめ、必要な試験の計画をたて、冬休みにすべきことや、ディプロマの1年目をどうやってうまくすごすかなどを考える大事な時期です。生徒が大学進学準備やリサーチをするのを助けるために今年新たにCialfoというオンラインシステムを導入しました。またそれに加えて、LMCにも大学関連の資料のセクションを設けました。学期ごとに新しい本を購入し、大学説明会の資料などを随時追加していきます。



KIST LMC大学進学ガイダンス
コーナー

ケンブリッジ大学説明会

9月13日の夜にKISTでケンブリッジ大学説明会を開催いたしました。ケンブリッジ大学のアドミッションオフィスが日本で初めて開催する学部説明会の会場として本校を選んでいただいたことをたいへん光栄に思います。当日はKISTや都内近郊の高校から約300人の生徒保護者の方が参加されました。参加者の皆様は、このイベントをお楽しみいただき、ケンブリッジ大学の出願プロセスやカリキュラム、学生生活など盛りだくさんな情報を得られたのではないかと思います。



KISTでの説明会のプレ
ゼンター、ケンブリッジ大
学アドミッションオフィ
スのMs Claire Canningと
ケンブリッジ大学学生
サービスセンターにて

Mrs Okude のケンブリッジ大学、ユニバーシティカレッジロンドン、インペリアルカレッジ、キングスカレッジ訪問

11月末にMrs Okudeはケンブリッジ大学からのご招待を受けて、ケンブリッジ大学で行われたカウンセラーカンファレンスに世界中のインターナショナルスクールからの48名のカウンセラーとともに参加しました。この3日間のカンファレンス期間中に、合計31あるカレッジのうちの4つのカレッジ(Clare College, Christ College, Trinity College, Sydney Sussex College)を訪問し、アドミッション担当者や教授陣とお会いしました。またカンファレンスには、模擬面接やSupervisionと呼ばれるケンブリッジ大学の特徴的な授業スタイルの模擬授業、ハリーポッターに出てくるようなダイニングホールでのディナーやキャンパスツアーも組み込まれ、とても楽しく、教育的で得難い経験を得ることができました。このような特別な機会を提供して下さったケンブリッジ大学にこころから感謝いたします。

ケンブリッジ大学のイベント終了後、ロンドンに向かい、



Igor(KIST 2019年卒)(写真中央)
とリクルーターのMr Jake
Ganymedeとインペリアルカレッジ
ロンドンでランチミーティング

UCL(ユニバーシティカレッジロンドン)でのカウンセラーカンファレンスに参加し、インペリアルカレッジとキングスカレッジ(ストランドキャンパス)を個人的に訪問しました。インペリアルカレッジでは、今年の秋から機械工学専攻で入学した本校の卒業生Igor(Class of 2019)に会うことができました。学部一年生として学業に励んでいるだけでなく、すでに競泳選手としても活躍している彼の姿

を見ることができとても嬉しかったです。

Keiko Okude と
Thomas Waterfall
University Guidance
Counselors

